

議 事 要 旨 記 録 票

日 時	令和7年7月30日(水) 午前10時から正午まで
場 所	日野市郷土資料館 (中央公民館高幡台分室 2階 講座室4)
会議件名	令和7年度第1回日野市郷土資料館協議会
議 題	<p><はじめに> 第10期郷土資料館協議会委員の変更について <協議事項> 日野市郷土資料館の運営の状況に関する評価について(令和6年度事業) <報告事項> (1)令和7年度事業の進捗状況と今後の予定について (2)日野本町地区公共施設再編について (3)復原住居について (4)その他</p> <p>※会議後、企画展「明日に伝える戦争体験 戦後80年～平和をつなぐ」見学</p>
参加者	<p>(郷土資料館協議会委員) 平委員、佐藤委員、保坂委員、片山委員、柳元委員、菅野委員、伴委員、河合委員、藤森委員 (郷土資料事務局)飯倉生涯学習担当参事(ふるさと文化財課長・郷土資料館長兼務)、宮本学芸係長、秦主査、白川主任 *挨拶のみ(金野主査、片岸主事)</p>
配布資料	<p>【資料1】第10期委員名簿(令和7年4月現在) 【資料2】郷土資料館協議会関連条例等 【資料3】令和7年度実施 運営の状況に関する評価(6年度事業)関連 【資料4】令和6年度事業【資料5】令和7年度事業の実施状況と予定 【資料6】日野本町地区公共施設再編 【資料7】復原住居の現状 【資料8】みんなのふるさとこぼれ話</p>
主な内容	<p>1 <u>第10期郷土資料館協議会委員の変更、事務局職員の異動について</u> 人事異動等により、齊藤委員から菅野委員、川島委員から伴委員に変更報告。新委員、事務局職員挨拶。</p> <p>2 <u>協議事項</u> <u>日野市郷土資料館の運営の状況に関する評価について(令和6年度事業)</u> 【資料3】および【資料4】をもとに、評価対象の5つの事業について職員が説明を行い、委員に意見を求めた。各事業の概要や委員の意見は「令和7年度日野市郷土資料館の運営の状況に関する評価について(令和6年度事業)」にまとめた。委員意見の概要は以下のとおり。</p>

No.1 学校教育との連携事業

(委員)

- ・小中学校などと連携し、効果的な学びの機会となっていること、「日野の探求」の取り組みが地域に深く根付いていることを評価する。
- ・わかば教室の児童・生徒に体験的な学習の機会は貴重であり、興味・関心を喚起するだろう。

No.2 展示開催事業

(委員)

- ・特別展「甲州道中日野宿と本陣」は、相模原市との共催により、協力関係を深める機会となった。
- ・「ひのっ子お買い物展」では、地域の歴史を解き明かす資料の大切さがわかる。
- ・公共施設などでの出張展示は継続を期待する。

No.3 資料の収集・調査・整理事業

(委員)

- ・歴史的公文書は地域の歴史に不可欠で、市民の財産として保管・公開が重要。国や近隣自治体のように日野市も公文書の整理公開を継続的に進める必要がある。
- ・代替わりや区画整理時には、処分される資料の調査が突発的に必要になる事態を想定し、情報の収集と共有化が欠かせない。

No.4 百草・倉沢エコミュージアム事業

(委員)

- ・エコミュージアムの着想は価値がある。
- ・同様の活動が、百草以外の地域にも広まっていくことが大切。
- ・真慈悲寺も考古隊も市民の活動が盛んであり、主力となる高齢者から次の人に繋いでいく難しさがある。

No.5 講座・体験学習事業

(委員)

- ・高齢化社会にも対応し、子供や若い世代の参加をさらに促進する。
- ・市民参加型の活動を増やし、郷土資料館の認知度向上を図る。
- ・実物にふれる体験が子どもは感激するので、探究学習の場面で資料館が果たせる役割

は大きい。

3 報告事項

(1) 令和7年度事業の進捗状況と今後の予定について

【資料5】をもとに、展示計画、古文書講座や体験学習会の予定、職場体験や社会科見学の実施および予約状況、公文書デジタル化のための資料整理作業ほか、進捗状況や予定について事務局から説明。

(委員) 意見なし

(2) 日野本町地区の公共施設再編計画

【資料6】をもとに「日野本町地区の公共施設再編計画」について事務局から説明。配布資料は協議中の案であり未確定。課題、複合施設のメリットやデメリット、今後の進め方について説明した。

日野宿交流館は展示のみとなり、日野宿本陣の向かいで展示を行う予定。社会教育と観光の側面を両立した施設として、地域全体に寄与する計画を進行。現状の施設の老朽化問題と新施設への移行をスムーズに行う必要がある。

(委員) 意見なし

(3) 復原住居について

【資料7】をもとに事務局説明

概要: 昭和58年に建てられた日野中央公園内の竪穴住居の復原住居は、公開や体験学習で利用されてきたが、体験事業は平成28年から休止、令和2年度に完全停止している。現在、建物の屋根や柱の根元が経年劣化により崩壊寸前。

課題: 修復には約2,000万円、その後の維持管理も必要となり、日野市として対応が困難。近隣住民や議会から再利用や除却について質問や要望あり。

解決策: 復原住居の再建は難しいため、解体・除却を検討中。建物の構造や活動内容について記録保存を行い資料として残す予定。

(委員)

・復原住居の公開や火起こし体験は楽しめるものであったが、公園奥の目につかない場所で、日野市が多額の予算をかけて立て直すのはどうかと思う。近隣では、埋蔵文化財セン

ターのように立ち寄り易い施設の利用も可能である。

・記録保存については、建物の構造や利用の歴史、廃止までの経緯を含めた包括的な記録作成を提案。

・3D モデルや立体画像を活用し、実物がなくなった後も教育や歴史発信に役立てることが今の技術で可能である。

(4)その他

(事務局)

8 月 1 日に白石新教育長が就任予定

(委員)

・日野市旧小学校跡地活用サウンディング調査の申し込みが終わった頃であり(※)、この建物、郷土資料館を今後どうするかについて関わることなので、進捗があったら教えて欲しい。 注※サウンディングの実施は8月5日～7日

(委員)

・郷土資料館の広報センスの改善が必要。少ない予算でも効果的な地域発信手段を考えないと活動が縮小してしまう。

(事務局)

子供向けや初心者向けの取り組みを評価されたが、裾野を広げるためには専門家ではない人がわかるような、宣伝や説明の仕方が大切であると考えている。

(事務局)

・次回協議会は秋頃開催予定、後日日程調整

・企画展「明日に伝える戦争体験 戦後 80 年～平和をつなぐ」見学案内